

東由利村報

No. 94

1965・4・10

発行 東由利村役場
編集 畑山 伝二郎
印刷 KK本間印刷所

第2回村議会定例会

□□□□□□□□□□□□□□□□□□

新年度予算総額

1億3千7百万円決る



第5日(3月22日)

常任委員会続行

第6日(3月23日)

午前中全員協議会、終って直ちに本会議を開き、討論採決の結果いづれも原案どおり可決された。なおこの日新たに39年度補正予算、特別会計補正予算4

件、議會議員の定数を減少する条例、人権擁護委員候補者の推せんなどが提出され、いづれも原案どおり可決された。

今議会に提出された重なる議案内容は次のとおり。

▷村税条令の改正

地方税法の改正によって、新たに所得から、雑損、医療費、社会保険料、生命保険料が控除される。

▷議會議員の報酬条令改正

議長月額1万2千円、副議長1万1千円、議員1万円

▷特別職の職員で常勤の給与条例改正

村長月額7万3千円、助役5万8千円、収入役5万円

▷特別職の非常勤の報酬条令改正

教育委員会委員・選挙管理委員会委員・農業委員会委員・監査委員・財産区管理委員会

委員等、報酬日額、委員長、会長850円、委員700円

▷教育委員会教育長給与条令改正、教育長月額3万9千円

▷40年度一般会計予算

▷国民健康保険特別会計予算、予算額、29,633千円

▷簡易水道特別会計予算予算額、829千円

▷黒淵診療所特別会計予算予算額1,658千円

▷玉米財産区特別会計予算予算額、764千円

▷39年度一般会計補正予算追加額、8,36万円

▷国保特別会計補正予算追加額、1,50万円

▷玉米財産区特別会計補正予算、追加額2,983千円

▷東由利村議會議員の定数減少条例、議員定数22人を次の一般選挙より18人とする

▷人権擁護委員候補者の推せん。候補者、小野広志

沢、高村、舟木、奥が沢、山崎、板戸、高戸屋、時雨山、袖山。

▷村長挨拶

農業構造改善と自立農家の育成とは今後最大の問題である消費生活の合理化と生活設計の樹立、家計簿の全戸記入を励行して自立経営の基盤を確立することを望む。

▷議長

農業構造改善事業の着手を前にして、玉米農協が合併出来ないということは、旧両村の格差が大きくなることで、今後の村づくりの重大な禍根になることである。何んとかして早く合併の出来るように、これは私の切なる願いである

▷教育委員長

本年度教育の重点目標は、学校統合の準備と、技術教育の振興である。社会教育の面では村のよき後継者をつくることである。農業近代化セミナーに理解と協力を願う。

▷協議及び依頼事項

イ、こう虫予防対策～まだ薬を飲まない人、飲んでも虫の下らない人が200人もいる。

全員飲ませるようにロ、村税完納～報償金を三段階に分けて交付する。①各納期内完納、②10月末に一度完納引続き年度末完納、③今迄のよいうな年度末完納。

ハ、酒類の密造をやめよう。

検挙数、37年15件、38年35件39年35件

ニ、村民税申告の説明（略）



部落長会議

早期完納部落表彰

年度末部落長会議は、県村民税申告の説明会を兼ねて3月10日開催された。開会と共に次の早期完納17部落の表彰が行われた。

藏、岩館、新田、日照坂、祝沢、野田、新処、桂台、中の

▷質疑、要望

- ①環境衛生費は～薬済代は全額ではないが村から出す
- ②砂利をしく時は部落に連絡するように～必ずする
- ③完納報償金は年度末を待たず、完納と共に交付するようにしてもらいたい
- ④村道の砂利や手入れは関係部落でも自発的に協力するよう

40年度予算を審議する3月定例議会は、3月12日招集され、会期を26日まで16日間と決定した。議案審議の経過は次のとおりである。

第1日(3月12日)

村長より40年度予算編成に対する施政方針が述べられ、教育委員長より教育計画の説明がなされた。ついで村税条令の改正等条令7件、一般予算、特別会計4件、その他2件が上程され、当局より提案理由の説明が行なわれた。

第2日(3月13日)

一般質問

第3日(3月16日)

議案審議等のため休会あけの本会議が開かれ、提出議案に対する質疑がおこなわれ、さらに議案審査を総務委員会に付託し、常任委員会との連合審査をすることとした。

第4日(3月20日)

常任委員会

(2)

村長施政方針要旨

村事業の躍進の年

農業構造改善の実施

村政のあり方

すべての面で村民の生活が向上する、明るい豊かな希望の持てる社会を築き上げるという信念のもとに各般の施策を講じた。

農業政策は村政の基幹

本村の73%は農民であり、従って農業政策は村政の基幹である。然るに農業は中小企業と共に、低所得部門の代表であり、高度経済成長は却って国民所得の中の農業所得の比率を低下させた。このようなヒズミをなくすためには、徹底的な農業構造の改善をもって対処するより外はないのであります。農業は他産業とちがい、耕地規模の拡大が困難であるなど悪条件があるので、その合理化は容易ならぬものがありますが、本村では今年からこの事業を実施いたします。幸い東由利農協も整備強化され、この大事業の一翼を担当するという力強い意気を示していることはみな様と共によろこびにたえません

道路は村民の生命線

道路政策については他市町村との緊密な連絡と協力体勢をつくり、その整備強化、橋梁の近代化等々その実を挙げて來たが、特に奥地開発の林道、牧道などに力をつくす所存である。

今年度予算

今年度の予算総額は1億3千7百万円で、昨年度当初予算より560万円増になっております。この財源の重なものは村税23,519千円、地方交付税54,51万円、国県支出金19,16万円、繰入金16,451千円、財産収入8,117千円、村債850万円、その他6,097千円となっております。

予算の規模は大きくなりましたが、村税は税法の改正によ

り、交付税は大都市に集中される傾向が強いことにより增收の伸びは余り期待出来ないので、一般経費の増大を極力おさえ、消費の節減を計って健全財政を目指して編成にあたりました。

次に歳出について申上げます

議会費、総務費

議会議員その他非常勤職員の報酬は県、郡等の状勢を勘案して改訂し、常勤の特別職についても同様に改訂の所存であります。研修費については議員各位が住民全体のよき指導者としての研さんといさかでも役立てばと存する次第であります。

民生費・衛生費・労働費

ほんとうに豊かなみのりの多い社会を実現するために「高い道義と豊かな文化」につしかられた人間の良識が必要である。このために道義・文化・学芸・宗教・科学を尊重し「われわれ日本人は何をなすべきか」という目標を定めて、すべての村民が関心と注意をはらわなければならない。

特に次代を背負う健全な青少年の育成、ゼミナールを主軸とした農業後継青年の育成・老人会・青年会・婦人会・子ども会等のために村独自の立場で助成を考慮した。

村民の健康増進のための環境衛生措置、特に大琴、黒淵診療所の医師の確保に努力した

農林水産業費

農業構造改善事業の実施、乳牛の増殖措置、牧草刈取機の購入等、林業は村財産確保の中核体としてやって行く、本年は造林22.5ha、保育172haの外特樹として栗を奨励する分収林は18部落14.6ha実施

土木費

予算の重点で総予算の20%を占めている。

国県道～国道の全面舗装、県道舗装は老方、沼館線、玉米矢島線の継続、蔵、大曲線の新規。山崎・鴻屋・十文字線玉米、矢島線は県単事業として継続の分担金を見込んだ。村道～役場前の舗装、昨年度からの継続7線一根小屋・石高・冷沢・大谷地・高村・大釜・大下。新規事業として、笹山・跡見坂・大琴の後道・前郷・新沢・西ノ浜の6線を計上した。橋の新設は大琴橋の永久橋、女滝橋。

修理は上里・下小屋・牡丹野・石田坂・明通・久保・水頭・根小屋・外新沢
村道・林道補修向け砂利560万円、外に笹倉1号2号橋、黒沢トンネルの補修。

消防費

全村民皆消防人を目標にしている。ポンプの充実、用水施設については国県補助対象外のものについても村補助をする。婦人消防クラブを育成す

教育費

教育委員会の要望をいれて予算化した。中・小学校の統合問題は改めて審議を願う。定時制分校に対する予算も要望にこたえて計上した。永慶みどり保育園にも予算措置をした。

村教育方針～教育委員長 小中学校の3学級減と校舎營繕の節約により経費を節約する一方技術教育振興のための施設、社会教育振興のための経費の増額により、教育予算是前年比13%増の19,404千円となった。本年度教育の重点目標は中学校の統合である。社会教育の重点は農業構造改善事業と呼応して、農業近代化ゼミナールを拡充し、家庭教育学級を充実してPTAとの協力交流を図る。

男子成人教育の組織化と団体活動の助長により村行政と結びついた社会教育活動を推進する。

学校教育、社会教育共に、人間像の目標を定めてこれに近づけるための総合一体の教育

体勢を打ちたてたい。

□12日から18日まで□

○ことしも全県的に春の無火災運動がはじまります。雪が消え空気が乾燥して、春風と共に火の手が勢を増して来る
○村民の一人一人が消防人となってセッタイに火事を出さないよう気をつけましょう。

全県無火災運動週間

黒沢部落ゼミナール

ふえた家計費

黒沢部落ゼミナールは、部落総ぐるみで、部落の近代化につとめているものである。3月11日に39年度のまとめをする会が行われた。

指導者側からは、中津川・森・畠良・石綿民喜・宮野・伊東正志の諸氏が出席し、家畜の飼育管理、39年度各戸の農業簿記の集計と分析、改良味噌の作り方と食品加工（福神漬の作り方）の部門別に研究を進めた。その外スライドによる乳牛の飼い方なども学習した。

酪農の問題点～冬期間乾草の天足から糞を食わせることになるが、栄養を補うだけの濃厚飼料を十分に与えかねるので、牛がやせて乳量の減り方が著しい。何んといつても牧草の確保が先決問題だ。簿記の検討により、生活費の1人当りが月平均7200円となっており3年前より1500円近くふえている。然し別にぜいたくな暮らしをしているわけでもないので、これは細かく検討して、原因をはっきりさせることにした。

この部落ではキノコづくりの共同や婦人部の野菜の共同育苗などで成果をあげているが更に豊富な山菜の加工にも積極的に取り組む申合せをした

昭和40年度東由利村歳入歳出予算

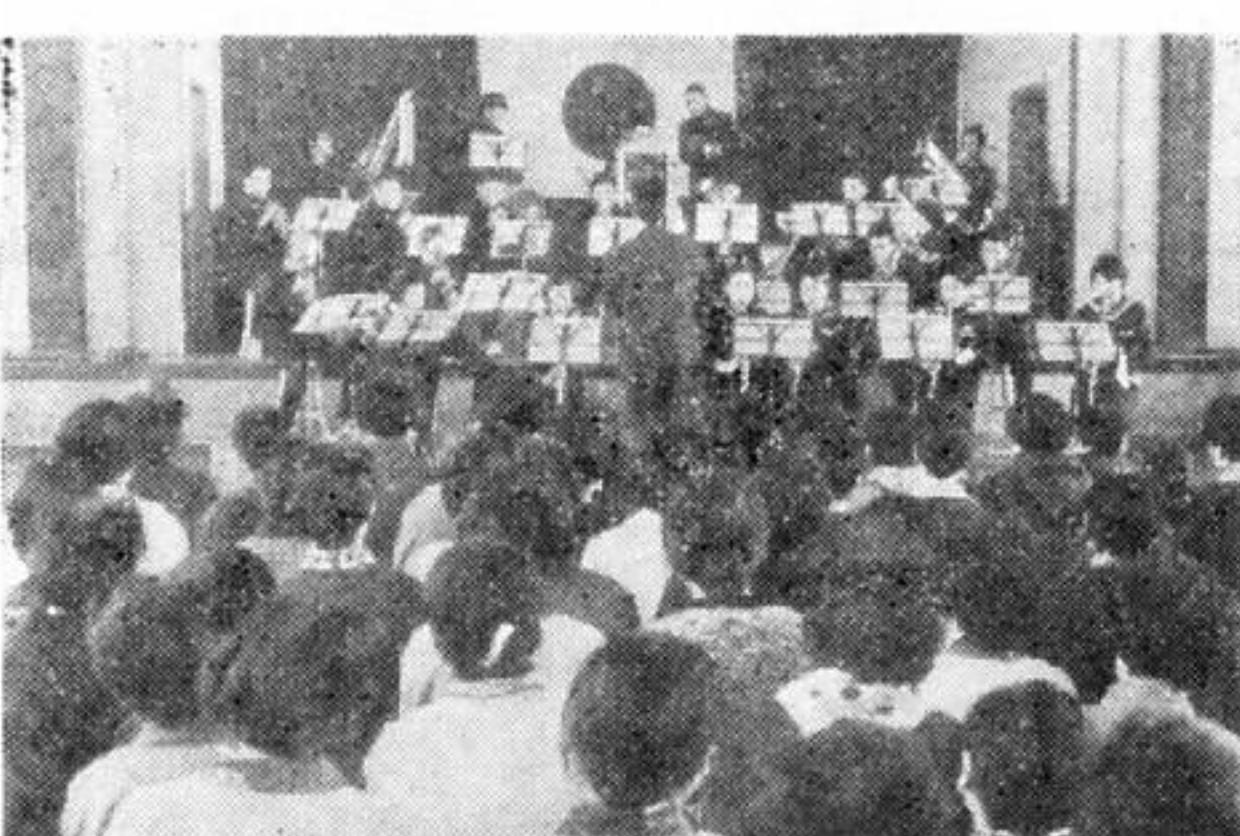
教職員異動

□ □ □ □ □

【歳入】			【歳出】		
款	項	金額	款	項	金額
①村税	1 村民税 2 固定資産税 3 軽自動車税 4 村たばこ消費税 5 電気ガス税 6 木材引取税	23,519千円 4,870 12,897 667 2,680 856 1,549 54,510 54,510	①議会費 ②総務費 ③民生費 ④衛生費 ⑤労働費 ⑥農林水産業費 ⑦商工費 ⑧土木費 ⑨消防費 ⑩教育費 ⑪災害復旧費 ⑫公債費 ⑬諸支出金 ⑭予備費	1 議会費 2 総務管理費 3 戸籍住民登録費 4 選挙調査費 5 統計調査員費 6 監査委員費 1 社会福祉費 2 児童福祉費 3 国民年金費 1 保健衛生費 2 清掃費 1 労働諸費 1 農業費 2 林業費 3 水産業費 1 商工振興費 25,679 1 道路橋梁費 2 河川費 3 住宅費 1 消防費 1 教育総務費 2 小学校費 3 中学校費 4 社会教育費 5 保健体育費 1 公共土木災害復旧費 1 公債費 1 普通財産取得費 1 予備費	4,753千円 4,753 24,414 16,688 4,815 986 747 1,067 75 5,192 2,663 1,608 921 5,356 3,674 1,682 60 60 41,274 18,410 22,824 40 135 135 25,679 25,499 159 21 3,641 3,641 19,404 3,931 8,000 5,238 2,132 103 241 241 4,369 4,369 1,882 1,882 600 600 137,000
歳入合計		137,000	歳出合計		137,000

【転入】▷住吉小（高尾小）堀鉄三郎（下川大内小）工藤みさ（岩谷小）工藤道也▷玉米小（新任用）佐藤セツ▷老方小（鮎川小）斎藤治男（男鹿）小野京子▷藏小（平沢小）斎藤コフ子▷宿小（矢島小）田口栄二（小友小）田口恭子▷玉米中（金浦中）国松東一郎（象潟中）国松京子（岩手県）三浦康（龜田中）金清（事務）▷下郷中（小友中）鈴木申一（矢島中）伊藤俊雄（下川大内小）遠藤与吉○（鮎川中）木村勇助▷村内▷老方小（法内小）菊地ケイ▷法内小（老方小）高橋幸子▷下郷中（玉米中）渡辺国蔵（事務）

【転出】岩谷小（住吉小）佐藤忠禎▷石沢小（〃）打矢好子▷南秋（〃）藤田修三▷西小（玉米小）佐藤湘子▷大正寺（老方小）高野隆▷平沢小（〃）佐々木幸子▷西滝沢小（〃）熊谷和子▷道川小（藏小）高野トヨ▷退職（袖山小）小松幸子▷養護学（宿小）三浦勝博▷小出小（〃）奥村礼子▷仁賀保中（玉米中）中津隆▷上浜中（〃）中津笙子▷退職斎藤洋子▷南中（〃）堀江照男▷矢島中（下郷中）小松俊一郎▷子吉中（〃）佐々木元▷川内中（〃）田口忠悦○鮎川中（〃）戸村忠▷道川中（〃）小野正雄（事務）



下中プラスバンド披露

下郷中学校
プラスバンド披露会
3月5日下郷中学校では待
望久しかったプラスバンド披

露会を、PTAなど来賓150名参会のもとに盛大に行なった。このバンドは26名編成、設備費は50万円である。

40年度第1次
自衛官募集

防衛庁では本年度第1次自衛官募集を次によって行っております。

- 1、募集人員 2等陸士5300名
2等海士1100名
2等空士1000名
- 2、応募資格 18歳以上25歳未満の男子で中学校卒業程度以上の学力を有する者
- 3、試験科目 中学校卒業程度の学力について、筆記試験（国語、数学、社会）
身体検査、口述試験

4、試験期日、4月28日(木)
5月26日(水)

本荘保健所において実施

5、採用予定、4月、5月、
および6月各月1回

なお募集案内、志願票は役場に準備しております、くわしいことは係におたづね下さい。

家庭の日

来る18日（第3日曜）は今月の家庭の日です。
家族みんなで相談して意義ある1日といたしましょう。

農業構造改善講習会

知事夫人来村

この講演会は秋田県農業会議主催で、3月26日役場を会場として行なわれた。主目標は自立農家の育成で、聴講者はこの道に关心の深い男女村民100余名で「家庭生活の近



代化について」一知事夫人、「農業構造改善と秋田県農業」一秋田県農業改善員柴田義雄氏、の講演があったその要旨

▷家庭生活の近代化といつても実行は仲々むづかしいその手始めは、男女平等を一步前進させて、奥さんを心からいたわり大切にすることである。夫婦のつとめの第一は、次の世代を引つぐりつな子どもを育てることである子どもに対して願う三つの健康～からだの、心の、社会の健康。よい子が育つための原因の一切は家庭にある。そのために家庭では①夫婦円満であること（特に妻を大切にすること）②夫婦けんかの子どもに及ぼす影響の深刻さを考えてことばをつづしむこと（特に殺氣を含むことばをさけ

家畜市場開設

期日、4月30日

開設場所、老方台山馬検査場め出場家畜の種類、こうし、駒

ん山羊、成牛馬

○注意事項

ること)

▷婦人に望む

家庭教育の八分までは母の負責べき分野である。子どもの育て方は、親の考え方で、自分で考えさせよ

▷家庭近代化の眼目

1 おかあさん方を大切にする

2 家庭に秘密を持たないこと

～明るくみんなで話しあえる家庭をつくる

3 正しい愛情を持て～判断を誤るな。判断を誤らないためには、眼前の現象にとらわれいで一段高い立場から判断するだけの見識を持つ。

▷農業構造改善と秋田県農業

1、所得の格差

農業はその特質上、他産業のように急速に所得を増加することが出来ない。1戸当たりの農家収入は増加しているがその伸びは農外収入によっている。専業農家が急減して兼業農家がふえ、出稼の増加が年々著しい。

2、農業人口の減少

農業人口は年々減少するのみならず、老令化、婦人化が目立つ、人口は減っても農家戸数は減らない。

3、貿易自由化の農産物に対する影響

4、構造改善のねらい。

基盤整備、機械化、共同化による生産コストの引下げ。十アルファーによる所得増。

農業構造の改善は長い目で見なければならぬ。性急に解決のつく問題ではない。

(1) 市場当日の申込や電話申込等は受付ませんから必ず期日まで添付用紙に記入の上申込んで下さい。

(2) 出生届のないものは申込出来ませんから事前に種付証明書持参手続をするように

3月29日西野幌高等酪農学校講師、三谷重野先生の講習会が定時制下郷分校で行なわれた午前はミ衛生管理はこれでよいか

の講演、午後は料理4種の実習で、

実生活に即した有益な講習



三谷先生衛生・料理講習会

であった

種粒の催芽について

3月7日午前10時から役場で、健康な稻づくりの講習会があつて、農政課高橋技師、農事試験場長、本荘普及所長など6名の方々がお出になつて、今年の稻作について指導して下さいましたが、その中から特に催芽について述べることにいたします。

催芽の三条件、温度、水分、酸素（空気）この三者が調和しなければならない。

高温で酸素が多くれば根のがび、高温で水分が多くれば芽がのびる。

風呂と粒がら利用の場合

① 風呂の温度は35°～37°、1昼夜～1昼夜半つける。

② 芽の部分がふくらみ出したら、一たん取り出してひろげて空気にあてる。これは長い時間を必要としない。元のよう詰めて再び風呂に入れて32°とする。

③ 風呂から上げ水を切って乾いた粒がらの中に入れる。覆

いはこも又はむしろを2枚位かけば十分である。この粒がらは温度を上げる必要はない。温度をにぎさなければ、種粒の呼吸熱で十分である。④芽の出方は2分位が丁度よい。すぐまかれない時は8時間ごとに水につけて、呼吸熱による芽と根の伸び過ぎを押さえなければならない。

注意～風呂の温度を上げるために火をたく時は、必ず種粒をあげてからにしなければ粒がにえてしまう。

⑤消毒、ウスブルンの浸水時間は15°の水を標準としたものであるから、今時の水なら1昼夜つける方が安全である遠藤徳太郎氏の催芽

私は従来の温床によって催芽する。但し2時間毎に床の状態を調べて必要な処理をする。

村議会一般質問

紙面の都合により次号まわしにいたしましたから、御了承をお願いいたします。



東由利村消防団

新規団員講習会

4月30日当村消防団では昭和30年1月以来の新規団員の講習会を老方小学校で行った